

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

国立公文書館

分類

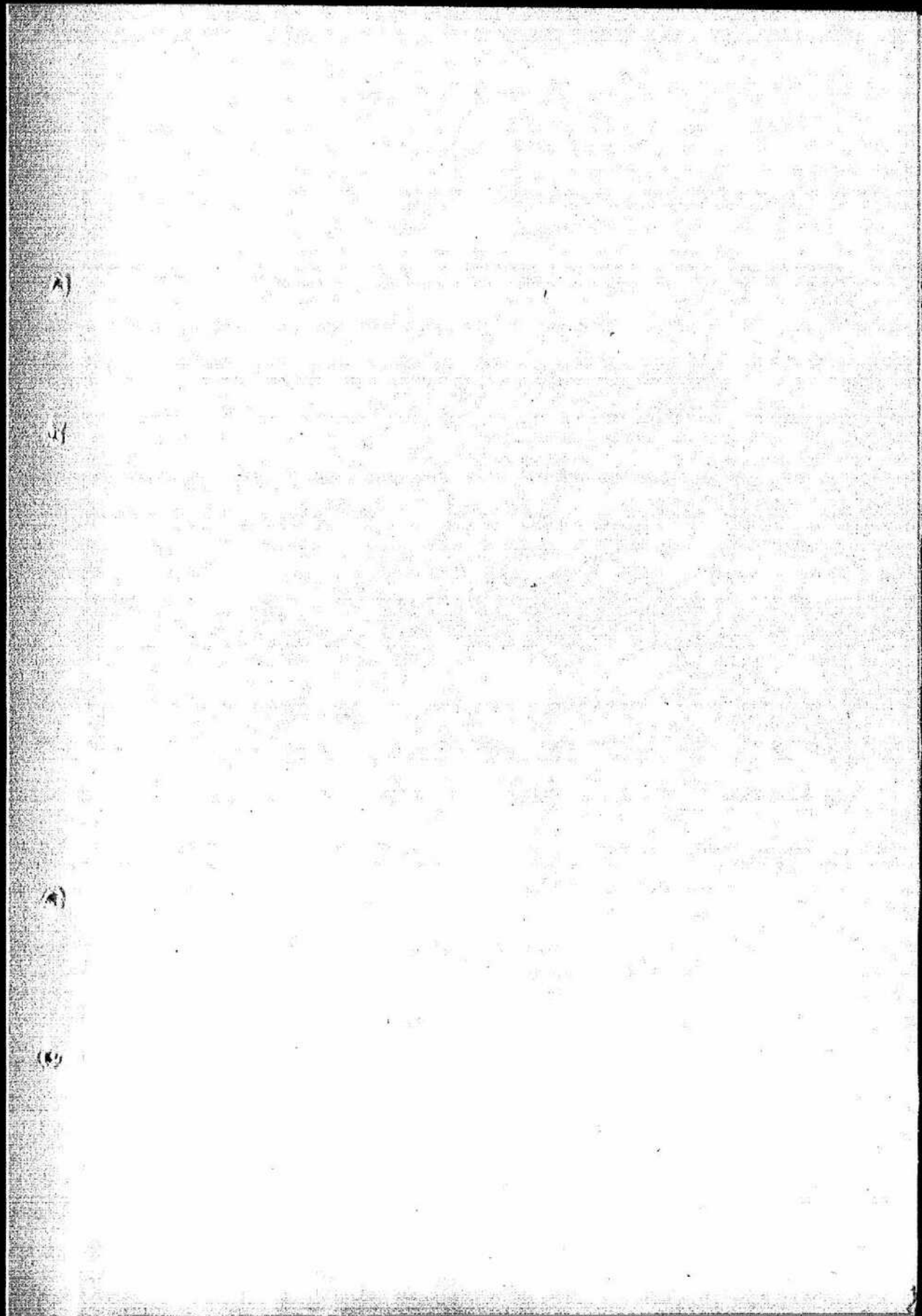
③ ④

排架  
番号

3 A

15

64-9



Item No 79

拾五年保存(當年書)

水産試験場往復文書

野島埼燈台

国立公文書館	
分類	⑧ ⑫
	3 A
配架番号	15
	64-9

裏面白紙

裏面白紙

海關發第三四號

大正五年六月一日

野島崎 燈台看守長殿

郵便切手送附一件

水産講習所

海洋觀測報告書送附用郵便切手左ノ通り送附候  
條御覽願上預リ記御回附相度候也

追テ預リ記ハ次回報告書上同封セラルニ様致リ度也  
猶大正拾四年度度度報告書未済所ハ追テ御報告相度也

金拾

錢也(參錢郵便切手)

拾 枚



海調發第33號

大正五年六月一日

海洋調查部

野島燈台御中

觀測報告紙及封筒送附案外

當部へ奉せらるる報告用トレシテ記送附矣奈御受取  
上ハ次回報告書ト同時ニ受領書御田附相成座矣也

記

一 定地觀測報告用紙

十五枚

一 封筒

二十枚





裏面白紙

海調記第參四號

昭和二年五月廿一日

水産講習所

野島崎燈台看守長殿

郵便切手送附一件

海洋觀測部報告送附甲郵便切手五圓送附修條受領六別紙  
預証、次回報各書、同封御回附相成度候也

皇和 大正十五年慶賀物報告未滴、向、必、御報告相成度也  
昭和元年版

記

一金 三六 錢也 (參錢切手) 十二 枚

昭和參年十月 日

野島崎 燈臺看守長 殿

水産講習所



本所囑托ニ係ル海洋觀測ニ付テ昭和參年四月ヨリ同年九月  
ニ至ル六ヶ月間一ヶ月金參圓ノ割合ヲ以テ金拾八圓也謝金  
トシテ支給候間御了知相成度此段及通知候也







水試 甲 第十五号

昭和四年四月廿四日

水産試験場長 春日信市

野島燈台

御中

海洋調査業務引継ニ関スル件

従来水産講習所海洋調査部ニ於テ取扱ヒタル海洋調査ニ関スル事

務ハ昭和四年四月一日ヨリ水産試験場第三部ニ於テ継承致シ候間

尤様御了承相成度此段及御通知候也







牙三部榮牙一三号

昭和四年五月三十日

水産試験場

野島塔燈臺看守長殿

郵便切手送付一件

海洋觀測報告書送付用郵便切手五枚送付候條、受領上、別紙預証次回国報告書一同封御回附相成度候也

記

一金券拵錢也 (参考切手)

拵 枚

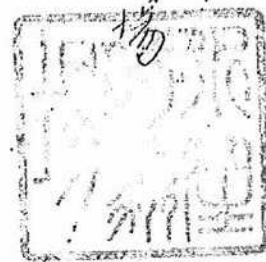




昭和四年十月 日

水産試験

石井平爾 殿



本場委託ニ係ル海洋觀測ニ付昭和四年四月  
公年九月迄六ヶ月間一ヶ月参用、割合ニ以テ金  
拾八圓也謝金トシテ支給相成矣間御了知相成  
度此段及通知有也

魚類及魚類學  
金十之三支給財部  
六月二十六日  
本場  
昭和四年四月

石井平爾

小島為銀

昭和四年十月



水産試験場

報告

昭和四年五月二十日

看守長 石井平爾

水産試験場 第三部

報告用紙到着ノ件

一定地観測報告用紙 一丁一枚

右正領収矣也





郵便便かき

千葉縣安房郡白濱村

野島崎燈台申中

東京市深川區越中島  
42.6  
氷産試験場

(隠根納)

大正十三年度	水産講習所	郵便切手清算
一月	掛受	残高
二月	掛受	備考
三月	掛受	三月分定例納金
四月	掛受	三月分定例納金
五月	掛受	三月分定例納金
六月	掛受	三月分定例納金
七月	掛受	三月分定例納金
八月	掛受	三月分定例納金
九月	掛受	三月分定例納金
十月	掛受	三月分定例納金
十一月	掛受	三月分定例納金
十二月	掛受	三月分定例納金
大正十四年度	郵便切手清算	
一月	掛受	残高
二月	掛受	備考
三月	掛受	三月分定例納金
四月	掛受	三月分定例納金
五月	掛受	三月分定例納金
六月	掛受	三月分定例納金
七月	掛受	三月分定例納金
八月	掛受	三月分定例納金
九月	掛受	三月分定例納金
十月	掛受	三月分定例納金
十一月	掛受	三月分定例納金
十二月	掛受	三月分定例納金

めくれず



裏面白紙

燈臺局

野島嶺燈臺 第一號 報告

昭和五年四月十日

野島嶺燈臺 看守長 土屋祐次郎

水産試験場第三部 所中

主任者交送一件

轉

前任野島嶺燈臺看守長石井平爾任二付  
後任看守長土屋祐次郎引継了了  
糸右衛門了承相成度

日本交送 手手日日本送

共録二號



第三十一期 報告 昭和五年四月十日

野島野崎燈台看守長 土屋祐次郎 謹啓

水産試験場基盤部 啓

主任者 交送 一件

一 前任野島野崎燈台看守長石井平爾<sup>轉</sup>位二付  
後任看守長土屋祐次郎 引継了了之旨  
余在任了 承相成後

送





昭和五年四月

日

燈台看守長

水産試験場  
殿



本場跡訖ニ係ル海洋觀測ニ付昭和四年度  
後半期(自昭和四年十月  
至昭和五年三月)六ヶ月間一ヶ月金  
内ノ割合ヲ以テ金拾八円也謝金トシテ支  
給相成ニ夫間申了知相成度此段及直知矣  
也



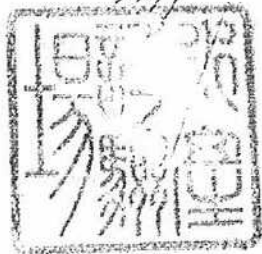
(保根稿)

水試甲第一五四號

昭和五年五月三十一日

水産試験場

野島塔燈臺省庁長土屋祐次郎殿



郵便切手送附ノ件

海峯観測報告書送附用郵便切手左ノ通り送附候條  
受領ノ上ハ預リ証御回附相成度候也

記

一金参拾錢也 (参弐郵便切手拾枚)

水産試験



野島堤燈臺看守長土屋祐治印

本場委囑ニ係ル海洋觀測ニ付キ昭和五年四月ヨリ企九月迄六ヶ月間一ヶ月金參圓ノ割合ヲ以テ金拾八圓也手當トシテ支給相成候間御了知相成度此致通知候也

拾月拾日受收

共第二號

燈臺局

領收書目

比賣計

壹佰

寒暖計

壹佰

比賣計

壹佰

採水器

壹佰

右正領收得也

昭和五年十月廿日

土屋祐次郎

水産浅穂場御中

追向序野第三子(昭和五年四月十日)より主任者交代一件  
報告ノ取寄ニ付有様向午後一文中「名宛紙」御取計ニ相成度

精利納





水試甲第七一號

昭和七年四月一日

水産試験場

野島坊燈臺看守長殿

郵便切手ニ關スル件

豫テ本場ヨリ海洋觀測報告用トシテ交付致置候  
郵便切手ニ關シ本年三月末日現在ニテ別紙ノ様式ニ  
ヨリ昭和六年度郵便切手受拂報告書提出相成度  
此段及照會候也

追テ貴台昭和六年度中ノ交付高ハ左記ノ通りニ  
付爲念申添候也

一 昭和五年度ヨリ繰越高	三六	錢也
一 昭和六年度中交付高	三〇	錢也



水試甲第八二

昭和七年四月十一日

水産試験

野島堤燈臺看守長 小沢甫次 殿



本場寄囑ニ係ル海洋観測ニ付昭和六年十月ヨリ昭和七年三月マテ六ヶ月間、一ヶ月金参圓ノ割合ヲ以テ金拾八圓也謝金トシテ支給相成候間御了知相成度此段及通知候也

めくれず

村白那安好字

水産試験場

東京市京橋區月島三號地

水産試験場



本署... 東京市京橋區月島三號地... 水産試験場

水産試験場

水試甲第入〇辨

昭和七年四月十二日

水産

試驗場

野島崎燈臺御中

海洋觀測報告用紙送附案内

豫而送附致置候海洋觀測報告用紙最早辨取  
ノ頃ト存シ候間左記ノ通り送附條御査収  
度候也  
上ハ次面觀測報告書ト同時ニ御一報相煩

記

以凡十以台要經行

一定地觀測報告用紙  
一定地觀測野帖  
一封印筒

一五枚  
一冊  
一五枚

昭和七年四月十二日

水産試驗場

御金  
御座  
御座  
御座

裏面白紙

水試 甲第一。五號

昭和七年四月二十六日

水産試驗場  
水産試驗場  
水産試驗場



郵便切手送附件  
海洋觀測報告書送附用郵便切手左記、通送附候條  
受領、上、預、証御回附相成度候也

一金 四拾五錢也

但、參錢郵便切手一五枚



昭和七年十月十二日

業作浦法殿

水産試験場

本場委嘱ニ係ル海洋観測ニ付キ昭和七年  
以月ヨリ全年九月マデ六ヶ月間一ヶ月金  
参圓ノ割合ヲ以テ金拾八圓也ヲ手當トシ  
支給相成候間御了知相成度此段及通知候  
也

裏面白紙



四月七日回答書

水試甲第一〇二號

昭和六年四月二日

水 産 試 験 場

水産試験場



野島崎 燈臺看守長殿

郵便切手ニ關スル件

豫テ本場ヨリ海洋觀測報告用トシテ交附致置キ候郵便切手ニ關シ  
本年三月末日現在ニテ別紙ノ様式ニ依リ昭和五年度郵便切手受拂  
報告書提出相成度此段及照會候也

(關根納)

裏面白紙

(書式)

昭和五年度郵便切手受拂報告書

一 受入

金〇円〇〇銭也

内譯 金〇円〇〇銭

前年度繰越

本年度受入

自昭和五年四月一日至昭和六年三月三十一日現在

一 残高

金〇円〇〇銭也

昭和六年三月三十一日現在

金〇円〇〇銭也

明細書

年月日

摘要

受入

拂出

残高

備

考

昭和五年四月一日

前年度繰越

三月分觀測報告用

三月三日券美切手拾枚受入

右之通り相違無之候也

昭和六年 月 日

〇〇燈台看守長氏名

印

水産試験場 御中

昭和五年度郵便切手受掛報告書

一 受入 金七拾錢也

金四拾錢 前年度繰越

金參拾錢 本年度受入

一 拂出 金參拾四錢也

一 残高 金六拾錢也

自昭和五年四月一日至昭和六年三月三十一日現在

明細書

年月日	摘要	受入	拂出	残高	備考
昭和五年四月一日	前年度繰越	0.40		0.40	
	十日主任者交送件		0.03	0.37	
	五月廿四日分観測報告		0.02	0.35	

昭聖年普音參錢切牛投受入	〇.四三〇	〇.六五
用紙及切牛受領書	〇.〇三	〇.六二
六月音普分親測報書用	〇.〇二	〇.六〇
七月音普	〇.〇二	〇.五八
八月音普	〇.〇二	〇.五六
九月音普	〇.〇二	〇.五四
十月音普	〇.〇三	〇.五一
十一月音普	〇.〇三	〇.四八
十二月音普	〇.〇三	〇.四五
正月音普	〇.〇三	〇.四二
二月音普	〇.〇三	〇.三九
三月音普	〇.〇三	〇.三六

右、通り相違無之候也

(圓根納)





裏面白紙

水産試験場

水試甲第一〇五號

昭和六年四月六日

水産試験



土屋祐次郎 啟

本場委囑ニ係ル海洋觀測ニ付キ昭和五年十月ヨリ昭和六年三月迄  
六ヶ月間一ヶ月金 三圓ノ割合ヲ以テ金十八圓也手當トシテ支給  
相成候間御了知相成度此段通知候也

(圖根納)



裏面白紙

水産試験場

水試甲第一三三號

昭和六年四月二十日

水産試験



野島崎燈臺看守長殿

郵便切手送附ノ件

海洋観測報告書送附用郵便切手左ノ通り送附候條受領ノ上ハ領リ  
證御回附相成度候也

記

一金三十錢也 但シ參錢郵便切手十枚

裏面白紙

共筆一號 燈臺局

扣

四七

報告 昭和五年五月五日  
野原崎燈台看字長北澤浦治

水産試験場第三部

水中

主任者交送ニ案ニ付

前任看字長土屋祐次郎轉勤ニ付後任看字長  
北澤浦治ニ據託車筋ヲ引継ヲ了ニ候

積利納



裏面白紙

共第二號  
燈臺局

昭和六年六月一日

野島崎燈台

水產試驗場

受領書

一定地觀測報告用紙 一五枚

一封筒 一五枚

右正受領書也

横形紙





水試甲第一。七辨

昭和八年四月五日

水産試験場

昭和六年五月十六日

水産試験場

豫而送附致置候海産觀測記錄報告用紙  
最早拂底、頓上存候間左記、通り送附候條  
御查收、上、次回觀測記錄報告書、上同時、受  
領書、由、回、附、相、煩、度、候、也

一、是地觀測報告用紙 一、五枚  
一、封筒 一、五枚

トシテ交附致置候郵  
別紙ノ様式ニヨリ昭  
成度此段及照會候也  
左記ノ通りニ付キ焉

念申添候也

一、昭和六年度ヨリ繰越高

一、七錢也

一、昭和七年度中交附高

一、五錢也

水産試験場一。七辨

昭和八年四月五日

水産試験場

那島崎燈臺看守長殿

郵便切手ニ関スル件

豫而本場ヨリ海洋観測報告書送附用トシテ交附致置候郵便切手ニ関シ本年三月末日現在ニテ別紙ノ様式ニヨリ昭和七年度郵便切手受辨報告書提出相成度此後及照會候也  
追テ貴臺昭和七年度中ノ交附高ハ左記ノ通りニ付キ焉

念申添候也

一昭和六年度ヨリ繰越高

〃七錢也

一昭和七年度中交附高

〃五錢也



水試甲第一〇七號

昭和八年四月五日

水産試験場

那島場 燈臺看守長殿

郵便切手ニ関スル件

豫而本場ヨリ海洋観測報告書送附用トシテ交便切手ニ関シ本年三月末日現在ニテ別紙ノ様和七年度郵便切手受拂報告書提出相成度此般追テ貴處昭和七年度中ノ交附高ハ左記ノ通

念申添候也

一昭和六年度ヨリ繰越高

〃七錢也

一昭和七年度中文附高

〃五錢也

水産試験場

留中 瀬田川 川瀬



那島場 燈臺看守長殿  
郵便切手ニ関スル件

水産試験場

昭和八年四月十日

水産試験場



本場委囑ニ係ル海洋観測ニ付キ昭和七年十月ヨリ昭和八年

三月マデ六ヶ月間一ヶ月金参圓ノ割合ヲ以テ金拾八圓也ヲ

手當トシテ支給相成候間御了知相成度此假及通知候也

修史

# 北澤浦治殿

金拾八圓  
金拾八圓  
金拾八圓  
金拾八圓  
金拾八圓  
金拾八圓  
金拾八圓

北澤浦治殿  
本所  
村

裏面白紙

裏面白紙

水試甲第一八六號

昭和八年五月二十二日

水産試験場

野島崎 燈臺看守長殿



郵便切手送附、件

海洋觀測報告書送附用郵便切手左記、通り送附候  
條受領ノ上、預リ証御回附相成度候也

記

一金拾錢也

但ニ參錢郵便切手

拾枚

裏面白紙

水試甲第 七六號

昭和九年三月七日

水産試験場

島崎燈臺看守長殿

郵便切手ニ關スル件

豫前本場ヨリ海洋觀測報告書送附用トシテ交附致置候郵便切手ニ  
關シ本年三月末日現在ニテ列紙ノ様式ニヨリ昭和八年度郵便切手  
受附報告書提出相成度此段及照會候也  
追テ貴臺昭和八年度中ノ交附高ハ左記ノ通りニ付キ爲念申添候  
也

昭和七年度ヨリ繰越高	〆、 〆、 〆、	錢也
昭和八年度中交附高	〆、 〆、 〆、	錢也

四日 日 報 告 不 了







昭和四年  
五月廿一日

水産試験場

昭和四年年度郵便受払報告  
一 復入 金七拾錢也

一 松出 金參拾兩也  
一 殘高 金四拾兩也  
昭和三十五年三月五日現在

明細書

年月日	摘要	受入	拂出	残高	備考
昭和四年 四月一日	前年度繰越高	四〇〇		四〇〇	
四月十日	郵便受払報告		三〇	三七〇	
五月一日	四月分報告		二〇	三五〇	
五月十八日	郵便受払報告	三〇〇		六五〇	
五月廿一日	郵便受払報告		三〇	六二〇	

めくれず

水産

昭和四年度郵便切手受払報告

一 受入 金七拾七銭也  
 内 郵券 金四拾九銭也  
 本年年度増進額  
 自 昭和四年四月一日至昭和  
 三年四月一日 出高  
 一 出金 金拾九銭也  
 一 残高 金四拾九銭也  
 昭和五年三月三十一日現在

明細書

年月日	摘要	受入	拂出	残高	備
昭和四年 四月一日	前年度繰越高	〇四〇〇		〇四〇〇	
四月十一日	郵便切手受払報告		〇三〇	〇三七〇	
五月一日	四月分報告		〇二〇	〇三五〇	
五月十八日	券式切手取扱 受入	〇三〇〇		〇六五〇	
五月廿日	五月分報告及 郵便切手受払報告 用振出/分		〇〇五〇	〇六〇〇	

水産試験場  
 東京市橋本區三島町  
 東京 3.25  
 9  
 3.25  
 9

Handwritten notes and signatures in the top left corner, including a large signature and some illegible text.

七月一日	六月分報告	〇二〇	六〇〇
七月十五日	七月分報告	〇二〇	五八〇
八月一日	八月分報告	〇二〇	五六〇
八月十五日	八月分報告	〇二〇	五四〇
九月一日	九月分報告	〇二〇	五三〇
九月十五日	九月分報告	〇二〇	五二〇
十月一日	十月分報告	〇二〇	五〇〇
十月十五日	十月分報告	〇二〇	四七〇
十一月一日	十一月分報告	〇二〇	四五〇
十一月十五日	十一月分報告	〇二〇	四三〇
十二月一日	十二月分報告	〇二〇	四〇〇
十二月十五日	十二月分報告	〇二〇	三〇〇
三月一日	三月分報告	〇二〇	二〇〇
三月十五日	三月分報告	〇二〇	一〇〇

右之通り相違無之候也

昭和五年四月一日 野島前港署署長 石井 爾

水産試験場 中

(副根)

昭和五年三月三日

野島埤

燈臺看守長殿

水産試験場



郵便切手ニ関スル件

本場ヨリ海峯觀測報告用トシテ交附致居候郵便切手ニ関シ本年三月末日別紙ノ形式ニ從ヒ昭和四年度郵便切手ノ受拂報告書提出相成度此段及知通候也



昭和四年四月一日  
 前年度より繰越  
 金〇円〇〇銭  
 本年分観測報告用  
 金〇円〇〇銭  
 本年分繰入  
 金〇円〇〇銭  
 本年分繰出  
 金〇円〇〇銭  
 昭和五年三月三十一日現在  
 残高  
 金〇円〇〇銭

昭和四年四月一日  
 前年度より繰越  
 金〇円〇〇銭  
 本年分観測報告用  
 金〇円〇〇銭  
 本年分繰入  
 金〇円〇〇銭  
 本年分繰出  
 金〇円〇〇銭  
 昭和五年三月三十一日現在  
 残高  
 金〇円〇〇銭

水書着録簿

昭和四年四月一日

(書式)

昭和四年度郵便切手受拂報告書

一 受入 金〇円〇〇銭也

前年度繰越  
 金〇円〇〇銭  
 本年分受入  
 金〇円〇〇銭

一 拂出 金〇円〇〇銭也

自昭和四年四月自翌昭和五年  
 三月三十一日迄、拂出高

一 残高 金〇円〇〇銭也

昭和五年三月三十一日現在

明細書

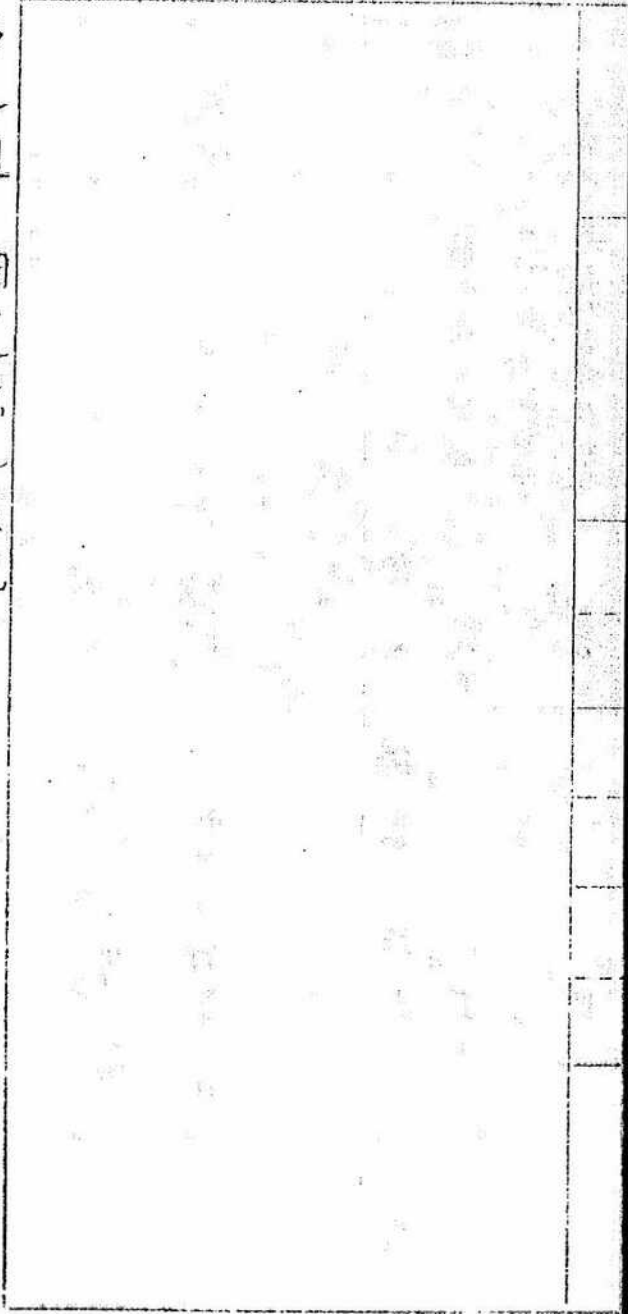
年月日	摘要	受入	拂出	残高	備考
昭和四年四月一日	前年度より繰越	一八〇		一八〇	
五月三日	五分切手格後受入	三〇		二一〇	
	五分切手格後受入		〇三〇	一五〇	
	五分切手格後受入			四五〇	



右之通り相違無之候也  
昭和五年 月 日

水産試験場 御中

〇〇燈臺看守長氏名 印



裏面白紙

水産講習所

郵便切手受拂簿

毎年度報告書八四月一日現在ノモノ

野島増太郎

水產講習所 知便切年及松海

年月日	松	島	愛知	島	備	島
四月十日	屋外新	屋外新	屋外新	屋外新	屋外新	屋外新
五月一日	屋外新	屋外新	屋外新	屋外新	屋外新	屋外新
六月十日	屋外新	屋外新	屋外新	屋外新	屋外新	屋外新
七月十日	屋外新	屋外新	屋外新	屋外新	屋外新	屋外新
八月十日	屋外新	屋外新	屋外新	屋外新	屋外新	屋外新
九月十日	屋外新	屋外新	屋外新	屋外新	屋外新	屋外新
十月一日	屋外新	屋外新	屋外新	屋外新	屋外新	屋外新

水產講習所



昭和三年度

昭和三年

六月二日	六月一日	五月一日	四月一日	計	三月三十一日	三月一日	二月一日	正月三十一日	正月一日	青白
	金廿五	金廿五	金	出 金廿四	金廿五	金廿五	金廿五	金廿五	金廿五	金廿五
		金廿五	金廿五	本年 金廿五	金廿五					
没入 金廿五	金廿五	金廿五	金廿五	残 金廿五	金廿五	金廿五	金廿五	金廿五	金廿五	金廿五
調査 金廿五	五月分	四月分		備考	三月分	二月分	一月分	十二月分	十一月分	十月分
調査 金廿五	調査	調査			報告用	報告用	報告用	報告用	報告用	報告用

(小帳簿)

水産講習所

月	日	松	厦	銭	備考
六月	三日	三束		金六拾束	印子報告及預入
七月	一日	式束		金五拾八束	
八月	一日	式束		金五拾六束	
九月	一日	計束		金五拾四束	八月分報告入
十月	一日	計束		金五拾二束	九月分報告入
十月	三日	計束		金五拾束	十月分報告入
十一月	一日	計束		金四拾八束	十一月分報告入
十二月	一日	計束		金四拾六束	十二月分
一月	一日	計束		金四拾四束	一月分
二月	一日	計束		金四拾二束	二月分報告
三月	一日	計束		金四拾束	三月分報告









水産講習所

五月三日	金三才	四七才	五月分報告
二月一日	金貳才	四九才	一月分報告
三月一日	金貳才	四三才	二月分報告
三月廿日	金三才	四〇才	三月分報告及 新年度要報報告
三月三十一日	現在合計 七拾才	三拾才	四〇才
四月一日	越前	四拾才	四拾才
四月十日	金三才	五拾才	五拾才 新任者交代済
四月廿日	金三才	六拾才	六拾才 四月分報告
五月十日	金無拾才	七拾才	七拾才 五月分報告
五月廿三日	金三才	八拾才	八拾才 五月分報告
五月廿七日	金貳才	九拾才	九拾才 五月分報告





水産試験場

年月日	檢	要	入	掛	出
昭和十一年四月一日	前年	〇.四	〇.三	〇.三	〇.三
三月分	〇.四	〇.三	〇.三	〇.三	〇.三
二月分	〇.四	〇.三	〇.三	〇.三	〇.三
一月分	〇.四	〇.三	〇.三	〇.三	〇.三
十二月分	〇.四	〇.三	〇.三	〇.三	〇.三
十一月分	〇.四	〇.三	〇.三	〇.三	〇.三
十月分	〇.四	〇.三	〇.三	〇.三	〇.三
九月份	〇.四	〇.三	〇.三	〇.三	〇.三
八月份	〇.四	〇.三	〇.三	〇.三	〇.三
七月份	〇.四	〇.三	〇.三	〇.三	〇.三
六月份	〇.四	〇.三	〇.三	〇.三	〇.三
五月份	〇.四	〇.三	〇.三	〇.三	〇.三
四月份	〇.四	〇.三	〇.三	〇.三	〇.三
三月份	〇.四	〇.三	〇.三	〇.三	〇.三
二月份	〇.四	〇.三	〇.三	〇.三	〇.三
一月份	〇.四	〇.三	〇.三	〇.三	〇.三

十二月一日	十月分					参六
十一月一日	十一月分					参六
十月一日	十月分					参六
九月一日	九月分					参六
八月一日	八月分					参六
七月一日	七月分					参六
六月一日	五月分					参六
五月一日	四月分					参六
四月一日	三月分					参六
三月一日	二月分					参六
二月一日	一月分					参六
一月一日	十二分					参六

(四根納)









										昭和 四年 九月
										〇 五 〇
										〇 三 九 〇
										〇 二 四 〇

水産試験場

裏面白紙

裏面白紙

水試甲第三四號

昭和九年四月十九日

水產試驗場

北澤 淳 治 殿



本場委嘱ニ係ル海洋觀測ニ付昭和八年十月ヨリ  
昭和九年三月マデ六ヶ月間一ヶ月金參圓ノ  
割合ヲ以テ金拾八圓也ヲ手當トシテ支給  
相成候間御了知相成度此段及通知候也

分取支給  
金三萬圓 北沢、植井、日博、多敷、吾守  
金二萬圓 橋山、金一、内町、吾守

水試甲簿二六辨ノ

昭和八年四月十三日

水産試験場

海洋観測報告用紙送附案内

豫而送附致置候海洋観測報告用紙最早排底ノ頃ト存候間左記ノ  
通リ送附候條御登收ノ上ハ次回観測報告書ト同時ニ御一報相煩  
シ度候也

記

一、定地観測報告用紙

一五枚

一封筒

一五枚



郵便は

深川區宛の  
通名地番

東京市京橋區月島三號地  
水産試験場

磯島燈台法中

4葉教安房邸白海村

水試甲第二四

昭和十年四月一日

報告ス

試験場

水試

豫前送附致置候海洋観測報告用紙最早拂底ノ項ト存候間  
左記ノ通り送附候條御查收ノ上六次回観測報告書ト同時ニ  
御一報相煩度候也

昭和

記

一定置観測報告用紙  
一封筒

一五枚  
一五枚

野島

本場嘱託ニ係ル海洋観測ニ付昭和九年十月ヨリ  
昭和十年三月マデ六ヶ月間一ヶ月全参田ノ割合ヲ以  
テ金拾八円也謝金トシテ支給相成候間御了知  
相成度此段及通知候也

四月十七日發行

水産試験場 白濱

水産試験場 白濱

郵便 切手



東京市京橋區月島三號地

水産試験場

水産試験場

水試甲第一三五号

昭和十年四月十六日

水産試験場

野崎燈台看守長殿



本場委託ニ係ル海洋觀測ニ付昭和九年十月ヨリ  
昭和十年三月マデ六ヶ月間一ヶ月金参圓ノ割合ヲ以  
テ金拾八圓也謝金トシテ支給相成候間御了知  
相成度此段及通知候也

四月十七日發行



水試甲第一〇五號

昭和十年三月二十六日

水産試験場

野島塔 燈臺看守長殿



郵便切手ニ關スル件

豫而本場ヨリ海洋觀測報告書送附用トシテ交附致置候郵便切手ニ  
関ニ本年三月末日現在ニテ別紙ノ様式ニ依リ昭和九年度郵便切手  
受拂報告書提出相成度此段及照會候也

追テ貴臺昭和九年度中ノ交附高ハ左記ノ通りニ付為念申忝候也

記

一 昭和八年度ヨリ繰越高 **貳拾四** 錢也  
一 昭和九年度中交附高 **四拾五** 錢也

報告スルニ  
建

共第二號

燈臺局

廣野第四

報告

昭和十年三月十日

水産試験場

沼田

野島海産物有界長

沼田

水産試験場

七中 屠身長交代二時 在親之通了 変更書也

前住立位

北澤浦

後住立位

河口太一



水試甲第一七二號

昭和十年五月十六日

水產試驗場

野島塔燈臺看守長殿

郵便切手送付ノ件

海洋觀測報告書送附用郵便切手左記ノ通り送附候條受領ノ  
上八次同觀測報告書ト同時ニ預リ証御同付相成度候也

記

一金拾錢也 但ニ參錢郵便切手拾枚

裏面白紙

水試甲第五六號

昭和十一年三月二十日

水産試験場

陸田場燈臺看守長 江口太二様

三月二十日

郵便切手ニ關スル件

豫而本場ヨリ海洋觀測報告書送附用トシテ交附致置候  
郵便切手ニ關シ本年度三月末日現在ニテ別紙ノ様式ニ  
依リ昭和十年度郵便切手受拂報告書提出相成度此段及  
照會候也

追而貴臺昭和十年度ノ交附高ハ左記ノ通りニ付キ爲  
念申添候也

記

一 昭和九年度ヨリ線越高

三 〇 錢也

一 昭和十年度中交附高

三 〇 錢也

燈臺局

昭和十年度郵便切手受拂報告

一、受入高 金六拾錢也 (内釋金平年寄金三錢也)  
 一、拂出高 金參拾六錢也 (内釋金平年寄金四錢也)  
 一、残高 金拾四錢也 (昭和十年度八錢也)

明細書

年月日	摘要	受入	拂出	残高	備考
一〇、四、一	郵事度三錢也	五〇	〇	五〇	
〃	有金取用		〇	五〇	
〃	四月分		〇	五〇	
〃	水産物運付	五〇		五〇	
〃	五月分		〇	五〇	
〃	六月分		〇	五〇	
〃	七月分		〇	五〇	
〃	八月分		〇	五〇	
〃	九月分		〇	五〇	
〃	十月分		〇	五〇	
〃	十一月分		〇	五〇	
〃	十二月分		〇	五〇	
〃	合計	五〇	〇	五〇	



一、九、二	八月報表用	〇	五	九
三、〇、二	九月報表	〇	五	九
一、一、一	十月報表	〇	五	九
一、二、一	十一月報表	〇	五	九
二、一、二	十二月報表	〇	五	九
一、二、一	一月報表	〇	五	九
三、一、一	二月報表	〇	五	九

右通し相違無き事也

昭和十一年三月五日

野島橋村長 孫心也

水産試験場 山中





一、封	皮	拾五枚
一、海軍觀測報告用紙	皮	拾五枚
右記	皮	拾五枚

夏領書

海洋觀測報告用紙送附案内

豫而送附致置候海洋觀測報告用紙最早拂返、  
項下候間左記通り送附候條御查收、六次回  
觀測報告書下同時二御一報相煩度候也

一定地觀測報告用紙 百十五枚  
一、封 筒 十五枚

昭和十一年三月廿日

阿波尾前身長 五口太一五

裏面白紙

水産試験場

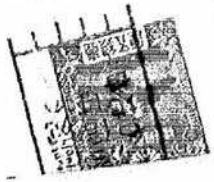
一、海軍觀測報告用紙	拾五枚
一封皮	拾五枚
右白皮銀子書	

昭和十一年四月一日

野島瑞峰以前身長 証口太一

水産試験場 以中

野島瑞峰



めくれず

夏領書  
拾五枚  
拾五枚

一 海洋観測報告用紙  
一 封皮  
右白皮領書也

昭和十一年四月一日

野島瑞峰氏前書友

水産試験場 以中

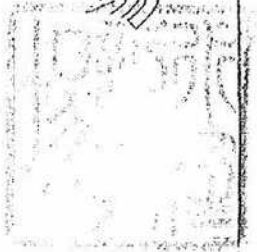
東京市京橋區月島三丁目  
水産試験場  
野島瑞峰氏前書友  
東京市京橋區月島三丁目  
水産試験場  
野島瑞峰氏前書友  
東京市京橋區月島三丁目  
水産試験場  
野島瑞峰氏前書友



水試甲第八八號

昭和十一年四月二十日

水產試驗場



水試場 燈台守長 沼田 一 展

本場委囑ニ係ル海洋観測ニ付キ昭和十年十月ヨリ昭和十一年三月迄六ヶ月間一ヶ月金参圓ノ割合ヲ以テ金拾八圓ヲ謝金トシテ支給致候條御了知相成度此段及通知候也

全振一係一当 江口 四〇〇  
分配額内訳 佐田 三〇〇  
錦田 四〇〇

勝山 三三〇

水試甲第九八號

昭和十一年四月二十七日

水産試験場

神島埼燈臺看守長殿

郵便切手送附ノ件

海洋観測報告書送附用郵便切手左記ノ通り送附候條受領ノ上  
次回観測報告書ト同時ニ預リ書御面付相成度候也

記

金拾銭也(但シ參銭郵便切手拾枚)

昭和十一年四月二十七日





裏面白紙

水試甲第二九〇號

昭和十一年十月二十六日

水産試験場

野島場 燈臺看守長 沼田一殿



十一年四月ヨリ全

本場委屬ニ系ル海洋観測ニ付キ昭和十一年四月ヨリ全

観測報告用郵便切手ニ関スル件

本場ヨリ観測報告用トシテ送附致置候郵便手ハ

昭和十一年四月一日以降ノ分別便ニテ送附ノ郵

便切手受拂簿ニ収支記帖相成度候也

迄テ昭和十一年四月以降貴台へノ交附漸ハ

左記ノ通りニ付時申添候也

一金 二四 錢並 昭和十年度ヨリ繰越

二金 三〇 錢並 昭和十一年四月二十七日交附

ヲ以テ金拾八圓也  
度此段及通知候也





三月十八日

昭和十二年三月二十日

水産試験場第三部

野島高燈 臺看守長殿

郵便切手ニ関スル件

豫而本場ヨリ海洋觀測報告書送付用トシテ  
交付致置候郵便切手ニ関シ本年三月末日現  
在ニテ昭和十一年度郵便切手受拂報告書提  
出相成度比級及照會候也

追而貴名昭和十一年度ノ交付高ハ左記ノ

通りニ付キ為念申添候

一、昭和十一年度ヨリ繰越高

一、昭和十一年四月交付高

貳拾四錢

叁拾錢

別添報告書



(水産試験場分)

昭和九年度以降

郵便切手皮拂簿

年月日	昭和九年四月一日	前年度より繰越	度入	松	虫	銭	高	備
	左	前年度観測報告用	〇三四〇		〇〇三〇	〇〇〇〇	〇〇〇〇	
四月廿日	水産試験場より	切手預り証送	〇四〇〇		〇三〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇〇	
四月廿日	切手預り証送	松			〇三〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇〇	
四月廿日	四月分観測報告				〇三〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇〇	
六月一日	五月分左				〇三〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇〇	
七月一日	六月分左				〇三〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇〇	
八月一日	七月分左				〇三〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇〇	
九月一日	八月分左				〇三〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇〇	
十月一日	九月分左				〇三〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇〇	
十一月一日	十月分左				〇三〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇〇	
十二月一日	十一月分左				〇三〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇〇	

水産試験場

















裏面白紙

共第二號

燈臺局

夏頌書

一、海軍視察報告用紙

十五枚

一對

筒

十五枚

右記 領收書也

昭和十年四月一日

歸島崎於此署名長

新白 共一

水產試驗場 出申

水試甲第七

昭和十

陸奥

江

謝公

海洋観測報告用紙送附案内  
豫而送附致置候海洋観測報告用紙最早拂底ノ項ト存  
候間左記ノ通ニ送附候條御查收ノ上ニ次回観測報告書  
同時ニ御一報相煩度候也

昭和十二年三月二十九日

一定地観測報告用紙 十五枚  
一封 筒 十五枚

本場委囑ニ依ル海洋観測ニ付キ昭和十一年十月ヨリ昭  
和十二年三月迄六ヶ月間一ヶ月金参圓ノ割合ヲ以テ金  
拾八圓也ヲ謝金トシテ支給致候条御了知相成度此段及  
通知候也

江崎署 三五〇号  
津浦署 四〇〇号  
田中署 二〇〇号  
鎌田署 四〇〇号  
岡部署 四〇〇号  
徳島署 〇五〇号

58

千葉県安房郡白濱村

郵便はがき

野島崎燈台

印

東京市京橋區月島三號地

水産試験場



水試甲第七二號

昭和十二年四月十五日

水産試験場

野島崎燈台看守長

江口六一殿

謝金支給ノ件

本場委嘱ニ係ル海洋観測ニ付キ昭和十一年十月ヨリ昭和十二年三月迄六ヶ月間一ヶ月金参圓ノ割合ヲ以テ金拾八圓也ヲ謝金トシテ支給致候条御了知相成度此致及通知候也

江口看守長 三、五〇〇円  
野島看守長 四、〇〇〇円  
田中看守長 三、〇〇〇円  
佐藤看守長 四、〇〇〇円  
岡田看守長 四、〇〇〇円  
佐々木看守長 〇、五〇〇円



水試甲第八〇號

昭和十二年四月二十六日

水産試験場

燈台看守長殿

郵便切手送付ノ件

海洋観測報告書送付用郵便切手左記ノ通り送付候條受領ノ上ハ次回観測報告書ト同時ニ預リ證御同付相成度候也

記

一金五枚、切錢也

(壹錢切手四錢切手)

於四枚

送付候條受領ノ上ハ次回観測報告書ト同時ニ預リ證御同付相成度候也

四月二十六日





裏面白紙

領收書

一金壹圓 五拾錢也

大正九年野島崎地定地海兵觀測實施  
三圓台子有上之正二番領書也

昭和十一年十月五日

野島崎地定地 田中真吾 

野島崎地定地 田中真吾  
江口 大 一 敬

昭和十三年三月四日

海洋觀測報告用紙送付案内

豫而送付致置候海洋觀測報告用紙最早拂底、頓下存候  
間左記通り送付候條御查收、六次回觀測報告書下  
同時二脚一報相煩度候也

記

一定地觀測報告用紙

拾五枚

一封

筒

拾五枚

子考也

本用

一、政治経済學部資料室 拾五枚

一、封筒 拾五枚

海軍省 事務局

めくれず  
裏面白紙

寄がは便郵  
子養、安子房、白兵所  
野島崎燈台  
東京市京橋區月島三號地  
水産試験場  
昭和十三年三月五日  
野島崎燈台  
水産試験場  
3.4  
10-4  
1177

水産試験場 以下

海洋観測報告用紙 其他受領1件

本月四日付御送附表及び記用紙等受領者也

記

一 海洋観測報告用紙 拾五枚

一 封筒 拾五枚

裏面白紙

昭和十三年三月 四 日

水産試験場第三部

野島埼燈臺長殿

郵便切手ニ関スル件

豫而本場ヨリ海洋観測報告書送付用トシテ交付致置候郵便切手ニ関シ  
本年三月末日現在ニテ昭和十二年度郵便切手受拂報告書提出相成度  
此後及照會候也

追テ昭和十二年度貴台ハ交付高ハ左記通り付為念申添候

一 昭和十年度ヨリ繰越 高 一八 銭

一 昭和十年度 交付高 六二 銭

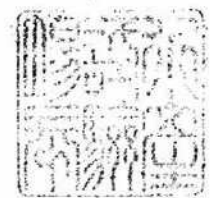




水試甲第九四號

昭和十三年四月二十一日

水産試験場長



野島埴燈臺長 江口 一 殿

本場委嘱ニ係ル海洋觀測ニ付キ昭和十二年十月ヨリ昭和十三年三月マデ六ヶ月間一ヶ月金參圓ノ割合ヲ以テ金拾八圓也ヲ謝金トシテ支給致候條御了知相成度此段及通知候也

一、江口、鈴木、姫野、三浦、録田、岡野各様  
金三円宛分配不



裏面白紙

共第二號

登臺局

受領證

一金參圓也

但水産試驗場囑託海産觀測所自十月後期分配金

右正受領者也

昭和十三年四月廿七日

惠山岬燈台

鎌田高麗夫

野島崎燈台長殿

裏面白紙

共第二號

燈臺局

受領證

一金券圖也

但水産試驗場囑託海洋觀測會當自十月後則分配金

右正之受領者也

昭和十三年四月二十六日

岡野金三 

野島崎燈台長殿

昭和十三年五月十八日

水産試験場第三部

野島坑燈台長殿

郵便切手送付ノ件

海洋観測報告書送付用郵便切手左記ノ通り送付候  
様受領ノ上八次同観測報告書ト同時ニ預リ證御回  
付相成度候也

記

一金四拾七錢也 壹錢郵便切手 七枚

五月二十日 野島坑燈台長殿 謹啓





水試甲第二八四號

昭和十三年十一月一日

水産試験場

野島場漁名長姫建一君殿

本場委嘱ニ係ル海洋觀測ニ付キ昭和十三年四月ヨリ全九月  
マデ六リ月間一ヶ月參圓ノ割合ヲ以テ金拾八圓也ヲ謝金ト  
シテ支給致候條御了知相成度此段及通知候也

- 一 姫野 五系五拾五
- 江口 四系
- 大井 三系五拾五
- 林 五拾五
- 龜山 二系
- 三浦 一系五拾五
- 鈴木 一系



共第二號

燈臺局

第九二號 報告 昭和十三年九月二十一日

水産試験場中  
野島崎燈台長心得 姫野一夫

主任交送ノ件

本件燈台長交送ニ付左記之由ト変更有也

記

前任主任 江口太一  
後任主任 姫野一夫

共第二號

燈臺局

一〇九

報告

昭和十三年十一月十七日

野島崎燈台長

相川東一

水産試験場 印中

主任 交迭ノ件

本件左記ノ通り燈台長交迭ニ付報告外也

記

前任主任

野一夫

後任主任

相川東一

裏面白紙

共第二號

燈臺局

受領證

一人金四糸也

旧水産試験場鳴門海洋観測所当自九月分

右正二受領候也

昭和十三年十一月二十八日

江口太一

野島崎燈台所中

横形納

裏面白紙

共第二號

燈臺局

一金貳參也 受領證

但水産試驗場囑託海科觀測所當自四月分  
右正受領矣也

昭和十三年十一月八日 龜山 甲 三層  
野島崎燈臺 中中下

横判納

裏面白紙

共第二號

燈

臺

局

受領證

一人五毫糸也

佃水産試験場嘱託海洋観測分当自九月分

右正ニ受領候也

昭和十三年十一月二十七日

鈴木勝



野島崎燈台帳中

横判紙

裏面白紙

共第三號

燈

臺

局

受領證

一金 尾系五拾兩也

但水産試驗場屬託海洋觀測所當至九月分

右正受領之矣也

昭和十三年十一月二十六日

三浦

勇

野島琦隆 啓

中

横濱納



三月十日度

昭和十四年三月十五日

野島嶺燈臺長殿

水産試験場第三部

郵便切手ニ関スル件

豫而本場ヨリ海洋観測報告書送付用ニテ交付致置候郵便切手ニ  
関シ本年三月末日現在ニテ昭和十三年度郵便切手受払報告書提出  
相成度此般及照会候也

速テ昭和十三年度貴台へ、交付高ハ左記ノ通りニ付為念申添候

昭和十二年度ヨリ繰越高	三五銭
昭和十三年四月 交付高	四七銭

裏面白紙

水試甲第一。三號

昭和十四年四月十七日

水產試驗



燈台長

友川 東一 敬

本場委囑ニ係ル海洋觀測ニ付キ昭和十三年十月ヨリ昭和十四年三月迄六ヶ月間參圓ノ割合ヲ以テ金拾八圓也ヲ謝金トシテ支給致候條御了知相成度此段及通知候也

本館... 昭和十四年五月... 本館... 昭和十四年五月...

野島燈台  
野島燈台  
野島燈台

1/4

本館... 昭和十四年五月...

野島燈台

昭和十四年五月六日

七日  
野島燈台

野島燈台

郵便切手送

海洋觀測報告書送付用郵便切手左記ノ通り送付候條受領ノ上ハ  
次回觀測報告書ト同時ニ預リ証御廻送相成度候也

一金五拾貳錢也 但シ  
壹圓切手 四圓切手 一三枚

昭和十四年五月三十一日

野島燈台燈臺御中

海洋觀測報告用紙送附案内

豫所送附致置候海洋觀測報告用紙最早拂底ノ項ト存候間左記ノ通  
リ送附候條御查收ノ上ハ次回觀測報告書ト同時ニ御一報相煩シ度  
候也

記

一定地觀測報告用紙 一五枚  
一封 筒 一五枚

野島燈台 本日度候報告ノ



收據

大正十一年五月五日

川口

川口

川口

大正十一年五月五日

川口

領收證

一筆金銀

右正に領收仕、修也

昭和十一年五月五日

西條登志郎

標識政子 長谷川

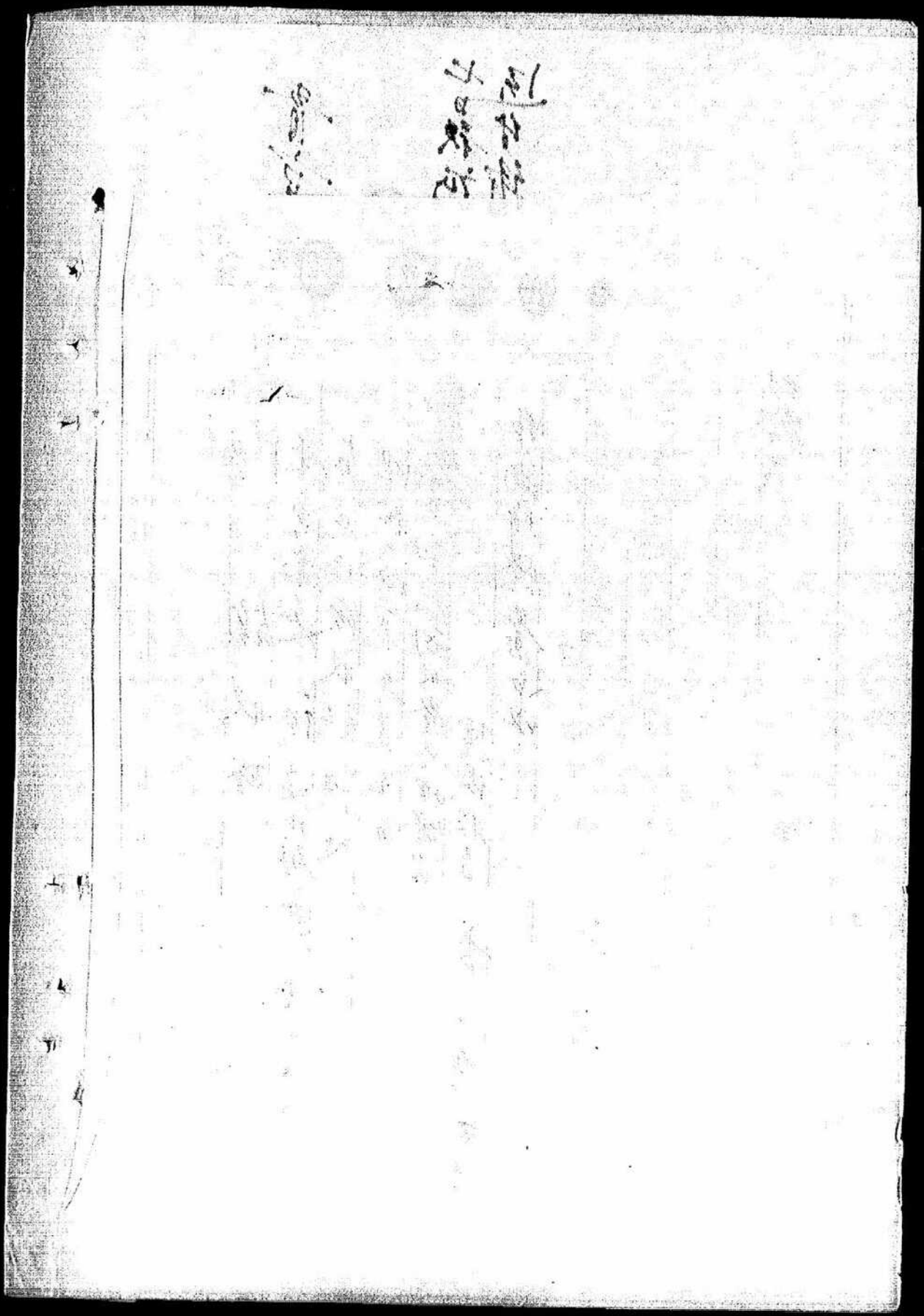
野島崎燈臺

KYORIN



川和堂  
力改定

1882





昭和十五年三月拾七日

昭和十五年三月十五日

水産試験場第三部

野島崎燈台長殿

郵便切手ニ関スル件

豫前本場ヨリ海洋観測報告書送付用トシテ交付致置候郵便切手ニ  
関シ本年三月末日現在ニテ昭和十四年度郵便切手受取報告書提出相  
成度此段及照会候也  
追テ昭和十四年度費台へ交付高ハ左記ノ通りニ付為念申添候

昭和十三年度ヨリ繰越高 貳拾八 錢  
昭和十四年四月 交付高 五拾貳 錢

第 號

四月二日十四年度受取報告書提出相

昭和拾五年四月貳拾日

水試甲第一〇六號

昭和十五年四月十六日

水産試験場長

野島崎燈臺看守長

田口吉郎 殿

謝金支給ノ件

本場委囑ニ係ル海洋観測ニ付昭和十四年十月ヨリ昭和十五年三月マデノ六ヶ月間一ヶ月参り圓ノ割合ヲ以ツテ

金拾八圓也ヲ謝金トシテ支給致候條御了知相成度此段及通知候也

四月二十三日委領分配

水産試験場

報告

昭和拾五年七月貳日

岡島勘燈台長

水産試験場 御中

主任 交代 1 件

本件在記ノ通り燈台長 交代ニ付報告候

記

前任主任

職名 技者

田口吉郎

後任主任

職名 技者

新田四郎

# 訂正

訂正理由	撮影ミス
訂正箇所	直前の / コマ取消 / コマ再撮影
訂正年月日	平成 16 年 11 月 12 日
このフィルムは、上記の理由で取消又は再撮影し訂正しました。	
撮影者	佐野 順一 (印)
受託責任者	重 隆 (印)

神奈川県南足柄市沼210番地  
富士写真フイルム株式会社  
代表取締役



裏面白紙

水産試験場

報告

昭和拾五年七月貳日

時島崎澄台長

水産試験場御中

主任交代一件

本件委託ノ通り燈台長交代ニ付報告候

統

前任主任

藤原 技者

田口 吉郎

後任主任

藤原 技者

新田 四郎

和拾五年七月六日

昭和十五年七月五日

水産試験場第三部

野島係燈台長殿

郵便切手送付ノ件

海洋観測報告書送付用郵便切手左記ノ通り送付候條受領ノ上ハ  
次回観測報告書ト同時ニ預リ証仰廻送相成度候也

記

一金

五拾貳錢也

但シ

陸毛切手 一枚  
四毛切手拾貳枚

七月十日孩証送附

裏面白紙



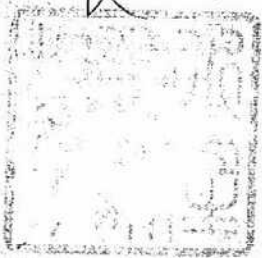
裏面白紙

昭和十五年十一月二十八日

水試甲第三六七號

昭和十五年十一月二十八日

水産試験場長



燈臺看守長

新田 四郎 殿

謝金支給ノ件

本場委囑ニ係ル海洋観測ニ付キ昭和十五年四月ヨリ全九月  
マデノ六ヶ月間一ヶ月三圓ノ割合ヲ以テ金十八圓也ヲ謝金  
トシテ支給致候條御了知相成度此段及通知候也

十一月三十日 受領 今記ス

昭和十六年三月十五日

昭和十六年三月十五日

水産試験場第三部

野島靖 燈臺長殿

郵便切手ニ関スル件

豫而本場ヨリ海洋観測報告書送付用トシテ交付致置候郵便切手ニ  
関シ本年三月末日現在ニテ昭和十五年度郵便切手受払報告書提出  
相成度此段及照会候也

追テ昭和十五年度賣合ハノ交付高ハ左記ノ通りニ付為念申誦候

昭和十四年度ヨリ繰越高 貳拾八 錢  
昭和十五年七月 交付高 五拾貳 錢

裏面白紙

裏面白紙

水産試験場

夏領證

一 是地觀測用紙 (丙)

十五枚

一封

筒

十五枚

一 是地觀測用紙 (丁)

一田

右白 = 夏領候也

昭和十六年四月十六日

野島崎燈台長新田四郎

水産試験場 少中

昭和十六年四月十九日

昭和十六年四月十九日

水産試験場第三部

送付案内

豫テ送付致置候左記物品最早拂底ノ項ト存シ候  
ニ付キ左記ノ通り送付候條到着ノ上ハ御一報相  
煩度候也

記

品名

数量

一定地能測用紙一箱

十五枚

封筒

五枚

めくれず  
裏面白紙



昭和拾六年四月廿三日

水試甲第一四〇號

昭和十六年四月十八日

水産試験場長



燈台看守長  
新田四郎殿

謝金支給ノ件

本場委囑ニ係ル海洋觀測ニ付キ昭和十五年拾月ヨリ昭和十六年三月マデノ六ヶ月間一ヶ月參圓ノ割合ヲ以テ金拾八圓也ヲ謝金トシテ支給致候條御了知相成度此段及通知候也

適宜ノ儀 諸君

裏面白紙



昭和拾六年五月廿日

昭和十六年五月二日

水産試験場第三部

野島崎燈臺長做

郵便切手送付ノ件

海洋觀測報告書送付用郵便切手左記ノ通り送付候條受領ノ上  
八次回觀測報告書ト同時ニ預リ證御廻送相成度候也

記

一金

四指錢也 但四錢切手

指枚

五月二日及欲證送済



裏面白紙

共第二號 燈臺局

受領證

一金壹圓也

(水産試驗場海水觀測手當 昭和十五年  
自一月廿二日分)

右正受領矣

昭和十六年四月二十八日

室蘭港南防波堤燈臺

標識技手 秋原 誠

野島埼燈臺長 殿

裏面白紙

水試甲第三七二號

昭和十六年十一月十一日

水産試験場長

燈臺看守長

新田四郎殿

謝金支給ノ件

本場委囑ニ係ル海洋觀測ニ付キ昭和十六年四月ヨリ今九月  
マデノ六ヶ月間一ヶ月參圓ノ割合ヲ以テ金拾八圓也ヲ謝金  
トシテ支給致候條御了知相成度此段及通知候也

代金及理合配付

裏面白紙

昭和拾六年七月廿六日

領收証

金壹萬五拾圓也

但し五月廿七日迄は  
右白領收候也  
悔れ觀測午也

昭和丁二年丁月二十日

鯉崎燈台

柳 尚直



野島燈台長

新田 四郎 殿

裏面白紙

共第二號 燈 為 局

領收 呈日

一、全武系也

(海水觀測予處、六、七、八、九月各一回)

右正領收據也

昭和十六年一月二十日

野島燈台

所 榮次

野島燈台 呈日



裏面白紙

燈臺局

領收書

一金武園也

但海水觀測手番四五五分

右正領收候也

昭和十六年十二月一日

金華山燈台

大正五

野島崎燈台

新中

昭和十六年一月十五日

水産試験場第三部

毎度御報告ヲ御送付被下厚ク御禮申上候事  
今更臨時郵便取締令ニ依リ今後御報告ニハ外部ニ  
必ズ住所(縣 郡 町村) 氏名ヲ詳細正確ニ御記入  
相成度御願申上候尚記入現し、無き様念、為之申  
添候  
右御依頼申上候

めくれず  
裏面白紙



裏面白紙

昭和拾七年參月壹六日

昭和十七年三月廿日<sup>十四</sup>

水産試験場第三部

野島崎燈臺長殿

郵便切手ニ関スル件

豫而本場ヨリ海洋觀測報告書送付用トシテ交付致置候郵便切手ニ  
関シ本年三月末日現在ニテ昭和十六年度郵便切手受~~給~~報告書提出  
相成度此段及照会候也

追テ昭和十六年度費台ヘノ交付高ハ左記ノ通りニ付爲念申添候

昭和十五年度ヨリ繰越高      拾八 銭  
昭和十六年度<sup>五斗</sup>交付高      拾 銭



裏面白紙

昭和拾七年四月拾八日

水試甲第八四號

昭和十七年四月十三日

水産試験場長

新田四郎殿

謝金支給ノ件

本場委嘱ニ係ル海洋觀測ニ付キ昭和十六年十月ヨリ昭和十七年三月マデノ六ヶ月間一ヶ月参園ノ割合ヲ以テ金拾八圓也ヲ謝金トシテ支給致候條御了知相成度此段及通知候也

昭和拾七年四月廿貳日

受領人 新田四郎

裏面白紙

燈臺局

領收証

一、全壹圓也 但海水觀測寺當二回方

右の領收候也

女島燈台

孫藏候寺森田 市

昭和七年五月廿一

野島燈台長 殿

裏面白紙

燈臺局

昭和拾七年五月壹日

千葉縣安房郡白濱町

野島埼燈臺

水産試驗場

受領書

一、定地觀測報告用紙 函一五枚

一封 筒一五枚

右正受領候也



昭和十七年四月九日

水産試験場第三部

海洋観測報告用左記物品送付致候ニ付キ  
到着以上八次回観測報告書ト同時ニ節一  
報相煩度候也

一報告用紙 丙十五枚  
一封筒 十五枚

記 昭和拾七年五月壹日 授出済

めくれず  
裏面白紙



昭和拾七年五月五日

昭和十七年五月四日

水産試験場第三部

野島悳燈 台長 殿

海洋観測報告書送付用郵便切手左記ノ通り送付候條到着ノ上ハ左記  
預リ書御廻送相煩度候也

記

昭和拾七年五月五日

預リ証提出済

一金

八拾四

錢也

但シ五錢切手

十枚

壹錢切手

四枚

裏面白紙

裏面白紙

燈臺局

受領證  
一此重計用硝子内筒 貳個  
右以受領候也

昭和拾七年五月八日

千葉縣安房郡白濱町

野島埼燈臺

水産試驗場

第三部海況係

沙中

めくれず  
裏面白紙

昭和十七年五月七日

昭  
和  
拾  
七  
年  
五  
月  
八  
日  
水  
産  
試  
験  
場  
第  
三  
部

送付案内

海産係

五月一日付ヲ以テ請求相成候物品左記ノ通  
リ送付候條御査收ノ上ハ折返シ御通知相煩  
度候也

記  
品  
名  
数  
量

一 比重計用硝子内筒ニ筒

昭  
和  
拾  
七  
年  
五  
月  
八  
日

現  
品  
着

昭  
和  
拾  
七  
年  
五  
月  
九  
日

支  
領  
印  
済  
了  
迄



裏面白紙

千葉縣安房郡白濱町

野島埼燈臺

昭和拾七年五月壹日

長 新田四郎

水産試驗場

海洋觀測比量計用硝子筒破損一件

本台使用比量計用硝子筒八枚年使用結果破  
損致使用不能硝子筒相以償硝子筒一枚八代品切送并被下  
度

昭和拾七年五月九日

水試甲第一一〇號

昭和十七年五月六日

水産試験場長

野島 操 燈台長 殿

海況及ビ漁況調査資料ノ取扱ニ関スル件

本年十二月八日ヨリ氣象管制實施セラレ一般海洋觀測及ビ漁況調査ノ項目中ニモ  
 十甲資源秘密保護法ニヨリ軍用資源秘密トシテ指定セラレタルモノ有之候條爾今  
 海況、氣象、漁況調査資料ノ保管ニハ充分ノ御注意相成度本場宛ノ報告書ニハ  
 (秘)ノ印ヲ付シ郵送ハ第一種封書郵便ニヨリ親展ト明記セラルル様致度此段  
 及通知候也

裏面白紙





裏面白紙

昭和十七年拾月拾五日

拜啓 貴殿益々御清榮奉賀候

陳者今般『大東亞戰爭開始以來、氣象海洋に關する事項は軍策戰の機密と相成り、若し之等の事項が一般公衆に漏洩し、爲に敵性國家に利用さるる事あらば由々しき一大事なる故、今後法令を以て嚴重に取締る旨』軍當局より通知有之候。而して本場發行の海洋圖或は海洋調査要報は、水溫・鹽分・透明度等軍の機密に關する事多量に掲載有之候へども、右は漁業者として漁獲増進上必須の知識なる故軍當局の諒解のもとに今後も海洋圖・海洋調査要報の編輯は從來の内容を繼續いたす事と相成候間、貴殿方に於ける保管は充分注意し、業務關係者以外には公開せざる様御取計ひ願上候。尙發送先の正確及び責任を明にする爲、早速貴殿方に於いて海洋調査要報保管人を御決定相成り、同封の用紙に記名捺印の上至急御返送被下度及御願候也。

昭和十七年九月十五日

昭和十七年拾月拾五日

農林省水産試験場  
保管部外送



裏面白紙

登臺局

領收書

一金券月也

但海水觀測斗者 自四月六日分

右に領收候也

昭和七年拾月廿九日

白濱町監塚

星野直次郎

野島燈台

途中

昭和拾八年 參月拾七日

昭和十八年 參月十五日

野島崎燈台長 殿

水産試驗場 第三部

郵便切手ニ関スル件

豫而本場ヨリ海洋觀測報告書送付用トシテ交付致置候郵便切手ニ関シ本年三月末日現在ニテ昭和十七年度郵便切手受拂報告書提出相成度此ノ段及通知候也  
追テ昭和十七年度貴台ノ交付高ハ左記通りニ付爲念申添候

昭和十六年度ヨリ繰越高

拾六 銭

昭和十七年度 交付高

八拾四 銭



裏面白紙

昭和十八年四月拾參日

水試甲第九八號

昭和十八年四月八日

水産試験場長

新田 四郎 殿

本場委囑ニ係ル海洋觀測ニ付キ昭和十七年三月ヨリ  
昭和十八年三月マデノ六ヶ月間一ヶ月參圓ノ割合ヲ  
以テ金拾八圓也ヲ謝金トシテ支給致シ候條御了知相  
成彦此段及通知候也

分取  
園田 三三 岡野 五〇 位  
年花 三三 川合 三〇  
松浦 三三 古谷 五〇





裏面白紙

燈臺局

受領證

一金 参内五拾錢

但海水觀測手寫 自十七年十月分

右三 受領修也

昭和十八年四月十八日

松浦 忠

野崎 琢治 長 殿

裏面白紙

證 臺 一 局

愛 領 證

一金 日五拾錢

但海水觀測ノ事者 自十七年十一月分 至十八年三月分

右三 = 愛 領 證 也

昭和十八年四月廿日

岡野 岩 雄

野崎 淳 彦 長 殿

裏面白紙

分册二 四 雜 報告

昭和拾八年五月八日

燈 臺 局

野島燈台長心得 園田清

水産試驗場御中

主任者 交送ノ件

一 前任野島燈台長 新田四郎 轉任ニ付  
後任燈台長心得 園田清ニ引繼ヲ了シ候條  
右御了承相成度

裏面白紙

昭和拾八年五月廿日

昭和十八年五月十九日

水産試験場第三部

野島崎燈台長殿

海洋觀測報告用トシテ本場ヨリ送附致置候郵便切手ハ最早  
拂底ノ頃ト存候間左記ノ通り送附候條到着ノ上ハ次回報告  
書ト同封ニテ左ノ預リ証御廻送相煩度候也

記

一金 四十五 錢也

但三 壹枚切手 枚

五 五枚切手 九枚

昭和拾八年六月壹日 發送



裏面白紙

登臺局

出版物保管書

貴場發行の海洋調査要報第七十報は軍の機密に屬するものなる事拜承仕候因て爾今之を保管は小生の責任に於て致可右確約仕候也

昭和拾八年五月廿參日

住所 千葉縣安房郡白濱町

所屬團體名 野島埼燈臺

責任者 園田清

農林<sup>省</sup>水産試験場長殿



裏面白紙

七六 報告

昭和拾八年七月壹日

燈臺局

水產試驗場 御中  
燈台長 交送一件

標識技手 根小 祥男

昭和十八年五月八日

水產試驗場 第三部

海洋觀測報告用紙送附案内  
豫而送附致置候海洋觀測報告用紙最早拂底  
頃小存候間左記一通送附候條係査收上六  
次回觀測報告書同時三報相煩度候也

田 波  
岸 祥 男

- 一 横断觀測報告用紙 枚
- 一 一定地觀測報告用紙 十五枚丙
- 一 封 筒 十五枚

昭和拾八年六月壹日 又々

燈臺局

昭和拾八年十月壹日

第七六號、報 告

野島燈台長 標識技手 根岸祥男

水産試験場 御中

燈台水交送、件

本件左記、通、交送、件 報告候

記

前任燈台長

根岸祥男

任

根岸祥男

水産試験場

東京市京橋區月島三號地



野島燈台長 御中

千葉県安房郡白浜町



裏面白紙

水試甲第二八八號

昭和十八年十月十四日

水産試験場長

園田清殿

本場委囑ニ係ル海洋觀測ニ附キ昭和十八年四月ヨリ昭和十八年九月マデノ六ヶ月間一ヶ月參圓ノ割合ヲ以テ金拾八圓也ヲ謝金トシテ支給致シ候條御了知相成度此段及通知候也

別紙ノ通分記ス昭和十八年十月壹日



寮 函 院

氏 名	在勤月数	転入転出月日	余 額	小為房料	送 科	送金額	備 考
新田 標識技手	1.0	转出 5/7	65	}	10	17	487
手先	5.5	9/17	353				
古岩 技師	1.5	5/19	96				
川合	6.0	退職 10/7	386	10	17	359	
園田 標識技手	4.5	転入 7/10	289	10	17	262	
根岸	3.0	転入 7/5	193			193	
木下 技術員	5.5	退職 8/11	353	10	17	326	
木曾	1.0	採用 9/6	65			65	
			1800	40	68	1692	
						68	
						40	
						1800	

裏面白紙



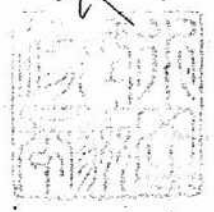
裏面白紙

水試甲第九七號

昭和十九年四月十五日

昭和十九年四月十五日

水産試験場長



昭和十九年四月

水産試験場長 郵

海洋観測報告用紙送附案内

豫而送附致置候海観測報告用紙最早押底  
項上存候同左記一通り送附候條所査取  
次回観測報告書上同時二法一報相煩度候也

五月五日迄送附

- 一 横断観測報告用紙 一枚
- 一 定地観測報告用紙 一枚
- 一 封筒 一枚

昭和十八年十月ヨリ昭  
ケ月金巻圓ノ割合ヲ以  
候條御了知相成度此段  
別紙ノ函分配ス





水試甲第九七號  
昭和十九年四月十五日

昭和十九年四月拾九日

水產試驗場長



根岸祥男殿

謝金支給、件

本場委嘱ニ係ル海洋觀測ニ就キ昭和十八年十月ヨリ昭和十九年三月マデ六ヶ月間一ヶ月金參圓ノ割合ヲ以テ金拾八圓也ヲ謝金トシテ支給候條御了知相成慶此致及通知候也

昭和十九年四月廿日 別紙、函、分記ス

水產試驗場

東京市京橋區月島三號地



千葉市安房郡白濱町  
野島崎火台所中

裏面白紙

海 陸 局

### 海水観測手当分配明細書

期日 昭和18年10月 至今19年3月

根岸、木常 全期 6ヶ月 前期出勤...ヶ月分

岡野 11月前期出勤 5ヶ月 后期出勤...ヶ月分

菅田 10月后期 5ヶ月

大熊、白井 2月末 1ヶ月

勤務日数 依、次、如、分配、 總額 718.-

根岸 74.50

木常 74.50

岡野 73.75 計 718.-

菅田 73.75

大熊 70.75

白井 70.75

裏面白紙

水試甲第二九〇號

昭和十九年十一月四日

水産試験場長

根岸祥因力殿

謝金支給ノ件

本場委嘱ニ係ル海洋觀測ニ就テ昭和十九年四月ヨリ昭和十九年九月マデノ六ヶ月一ヶ月金拾圓ノ割合ヲ以テ金拾八圓也  
ヲ謝金トシテ支給候條御了知相成度此段及通知候也

大東 通 取

根岸祥因力殿 各四圓ニ付

裏面白紙